

みんなの声の広場

平成26年4月25日発行

homepage : <http://www.khotoku.net>

email : info@khotoku.net

tel&fax : 045 - 532 - 9089

平成26年第1回定例会 1月31日(金) - 3月25日(火)

市会ニュース

TOPIC 1

横浜の未来を結ぶ会 市庁舎整備検討事業費などの修正動議提出！



〔平成26年3月25日日本会議・予算案修正動議趣旨説明より〕

平成26年第1回定例会が、先ごろ閉会しました。今定例会の後半部分で平成26年度の予算案審議が行われ、3月25日に採決が行われました。結果は、賛成多数で原案が可決されました。

望月は、同日の議決に先立ち、“横浜の未来を結ぶ会”の仲間10名で、「新市庁舎整備検討計画事業費」約9千7百万円や、「放射性物質を含む下水汚泥焼却灰の南本牧廃棄物最終処分場への埋立」関係経費の予算計上への修正・変更を求める修正動議を提出し、望月が、会派を代表し本会議場で動議提出の趣旨説明を行いました。

横浜市の26年度予算案は、一般会計で約1兆4千億円超、企業会計や特別会計を加えると約3兆5千億円になります。これらは、全事業の予算案を一括で審議し、賛否の議決を行います。ただし、もし一部に特に賛成しがたい部分があった場合は、その部分について8名以上の会派は、修正を求める動議を出すことができます。これまで横浜市会で、この動議提出権が行使されたことは、我々が議席を持つまでほとんどありません。

今回、我々は、この動議提出権を行使し、上述の2件の予算について修正を求めました。その際に会派を代表し、登壇したのが望月でした。

この修正動議に、賛同して頂いた他会派もありましたが、結果は、残念ながら賛成少数で否決されました。我々は、この修正動議否決を受け、市民生活に直結する必要な予算も含まれる予算案全体までは否定できないと考え、その後の26年度予算案全体に対する議決に賛成しました。そして議会全体としても賛成多数で、可決され予算成立となりました。

新市庁舎建設問題については、一昨年末以来、このレポートや市政報告会、駅頭などで区民の皆さまにお伝えしてきました。現在の関内港町にある市庁舎を北仲通南地区に移転する計画です。老朽化や狭隘（きょうあい）さが現庁舎にあることは確かです。しかし新市庁舎建設計画は、事業費計画や移転地、臨海部全体の町造りという点で問題があります。建物本体だけで6百億円以上かかる予定の事業費。大震災を経験した我々が、海と目と鼻の先で、液状化も予測される場所を震災時の指令拠点になる場所として選択していいのか。関内・関外地区、みなとみらい地区を含めた市全体の都市造りのビジョンはどうなっているのか。こうした点を議会だけでなく市民に示し、十分意見を交換した後、新市庁舎整備を進めるべきと考えています。そうしたプロセスを経た後に結果として、今、予定されているような新市庁舎建設計画になるならば話は別です。しかし、新市庁舎建設は、正式に議会で議決決定したことはなく、整備検討計画段階にもかかわらず、建設計画だけが独り歩きし、中身も揺れています。現に基本構想段階で示されていた余剰床を民間に貸し出しテナント料を稼ぐ収支シミュレーションが変更され、建設費用の回収予定が35年間から55年間に延長されたり、市長が突然に東京オリンピックに間に合わせると言ったことで、着工・竣工予定も大幅に早まりました。オリンピック開催で日本が活気づくのは良いのですが、建設費の高騰も心配されます。

放射性物質を含む下水汚泥焼却灰の南本牧廃棄物最終処分場への埋立費は、現在市内2か所で仮置きされている焼却灰を南本牧の最終処分場に埋立を開始するための予算です。これについて、地元の住民や港湾関係者から放射性物質を含む焼却灰ということで、不安の声が上がっています。十分な説明と合意がなされたとはいえない状況で、埋立を開始するのは、時期尚早との判断で、今回、予算の修正を求めました。

確かにこうした廃棄物の処理をどう行っていくかは難しい課題です。特に受け入れ先の問題があります。いずれどこかのタイミングで、なんらかの形で処理していかなければいけません。だからこそ、できるだけ丁寧な説明と住民や関係者の大勢の合意を得る努力が必要です。その点が今回は、まだ十分でないという判断による修正動議でした。

..... 切り取り線

“皆さんの声”をお気軽にお寄せ下さい。

ご記入日／平成26年 月 日

横浜市政や区政、あるいは政治全般について、お気づきの点やご要望あるいはご意見があれば教えてください。

ご記入者の^{ふりがな}ご氏名 [_____] 年齢 [_____ 歳] 性別 [男・女]

ご記入者のご住所 [〒 _____]

ご連絡先のお電話番号 [_____] Email [_____ @ _____]

- ※ 以上の項目は、すべて任意。可能な項目のみご記入をお願い致します。
- ※ お寄せ頂いた個人情報は、適正に管理します。
- ※ ご連絡先のご記入のある方には、望月から回答のためご連絡を差し上げたり、市政報告会などのご案内をする場合があります。

TOPIC 2 望月が、予算特別委員会・連合審査質問に立つ!!

3月20日(火)の予算特別委員会・連合審査で、望月が会派を代表し、市長並びに関係局長に質問を行いました。連合審査とは、全議員と市長以下幹部職員が勢ぞろいし、本会議場とは異なり一問一答形式で、会派代表が、持ち時間の範囲(望月の場合12分以内)で、平成26年度予算案に関連し、当局に質問を行う審査会です。こうした審査会は、一年に2回しか開催されず、質問時間に制約があります。このため、この場で質問を行うのは、めったにない貴重な機会です。

今回、望月が市長に特に質(ただ)したのは、市経営の哲学や将来ビジョンです。それらを財政面や災害・減災対策に絡め確認しました。市長は昨年の夏、再選を果たしました。その自信からか新年度予算は、将来への投資・布石と称して、これまでにない積極的な予算編成に打って出たように思います。まだ検討費・調査費段階〔例、カジノを含む統合型リゾート、地下鉄延伸〕であっても、将来の横浜の財政や都市経営に大きな影響を与える可能性のものが含まれています。将来への投資が、良い芽であれば応援しますが、それが悪い芽ならば、見直して頂かなければいけません。

これまでの議会は、当局側の予算案提示に対してチェック機能を果たす議会、将来ビジョンを掲げて物言う議員であるよりも、その時々^の市民要望や特に議員、政党の支援組織・団体の要望をビジョンなく安易に伝える議会・議員であったように思えます。もちろん市民の声や組織・団体の声を予算に反映させるのは、政治の役目の一つです。人口増加・経済成長が期待できる時代はそれだけで良かったかもしれませんが、ただしこれからは、そうした社会状況ではありません。単純に市民ニーズだけを予算や政策に反映させるだけの政治モデルは、変えなければいけないと考えます。本市でも平成30年頃から始まると予測される人口減少、更なる高齢化に対応できる財政運営、施策展開が必要と考えます。そんな思いで短い時間でしたが、市長、関係局長に質問しました。質疑の中で、万一の富士山などの火山噴火の際の降灰対策、特に水道水の安全性確保をどうするかのやり取りも行いましたが、浄水場の改良を行っていく旨の回答がありました。



〔平成26年3月20日予算特別委員会・連合審査より〕



〔平成26年3月11日子ども青少年局審査より〕

今定例会では、上記の連合審査会での質問の他に、3月11日、子ども青少年局に対する質問を行いました。子ども青少年局は、横浜市^の待機児童対策や障害児施策、その他の子ども子育て支援政策全般を統括している局です。その平成26年度予算案に関連して、望月は、①児童養護施設入所児童に対する進学支援、②家庭的保育事業の質の確保、③待機児童対策の問題点と予算バランスの改善、④地域療育センターの利用者負担増、などについて質疑を行いました。そのやり取りの中で、平成23年10月に決算特別委員会・子ども青少年局の審査で望月が、善処を求めた児童養護施設退所者に対する高等教育進学支援の奨学金新設の確認も行いました。

望月の議会での活動の様子を是非、インターネット動画でご覧下さい。

“横浜市会 HP” ⇒ “インターネット中継” ⇒ “議員名から選ぶ” ⇒ “望月高徳”

IR〔統合型リゾート〕構想って何？

カジノや劇場、ショッピングセンターやレストラン、国際会議場や展示場など様々な誘客・観光施設を複合的に一つの地区に設けて、外国からの観光客を中心に賑わいを創出し、自治体の税収増や雇用の確保を図ったり、あるいは観光収入を確保し経済の活性化を行っていかうという考え。言葉の意味通りならば必ずしもIR≠カジノではありませんが、実際は、カジノ施設を設けることは、この構想の核であり暗黙の了解事項と言えます。

今の日本ではもちろんカジノ施設を行政、民間を問わず設置・運営することは、違法行為になります。ただ国会でカジノを一定の地域で合法化する法案が用意されており、平成26年度中にも成立するのではないかと見られています。そうした国の動きに呼応し、法案が成立する前から名乗りを上げたり、名乗りを上げる準備をしている自治体があります。本市でも、市長が積極的で新年度予算にIR構想実現に向けた調査費が約1千万円計上されました。

構想を進めるべきかどうかの判断は、メリットだけを見るのではなく、どれだけの財政負担を伴うかの視点〔現時点で山下埠頭の周辺が地区として有力。その場合の基盤整備に要する費用や埠頭関係者の移転補償費〕、更にカジノはギャンブルであることは間違いありませんから依存症などの問題、根本的に中長期も含めて将来この横浜をどういった都市にしていきたいか、そうしたことをよくよく考え行すべきです。決して短絡的に最初から事業決定ありきではいけないと考えます。当然、正しい情報を提供した上で、市民の声をしっかり聞きながら判断を行うべきと考えます。

【当レポート発行者プロフィール】

横浜市議員〔都筑区選出〕望月高徳(もちづきこうとく)。静岡県出身、横浜市民26年目。荏田東一丁目在住。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。(株)野村総合研究所社員、学習塾経営、専門学校講師など経て、平成23年4月より現職。所属会派は、“横浜の未来を結ぶ会”。

5のつく日には行政相談実施中! ~ 個人のご相談事から地域の課題や市政全般まで。行政に係わることはなんでも。~

5日、15日、25日の毎月5のつく日には、事務所にて行政相談をお受けしています。公務日程によって、実施時間帯は、午前・午後・夜間と変わります。詳細については、事前に、お問い合わせ下さい。

5のつく日の行政相談以外にも、皆様からの行政相談やお声を常にお受けしています。各種団体、NPO法人、自治会・町内会あるいは個人 etc ご連絡頂ければ、当方から出向きます。



“皆さんの声”は、横浜市議員 望月高徳 が承ります!

TEL&FAX:045-532-9089

Email: info@khotoku.net

または 直接事務所までお寄せ下さい。

ご協力に感謝!!

【望月高徳政務活動事務所の所在地】

都筑区中川中央1-24-17-2F〔市営地下鉄センター北駅グリーンライン側目の前〕